

【2016年度の総括】

① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	67,301	100.4	↑
支出	63,386	109.7	↑
経常収支差額	3,915	42.4	↓



評価：
 年度当初こそ稼働率も安定し、予算を上回るペースで収益を上げていたが、急な特養入所やご逝去により、下半期は単月でも予算未達成が続いた。
 予想外の登録解除が続いた反面、新規利用者の獲得に苦しんだ1年でもあった。

② 職員配置と研修（職員数は2016年1月現在）

【職員配置】
 昨年とほぼ変わらない体制でスタートし、学生アルバイトの増員やボランティアからの採用など非常勤職員が増加した。同時に職員数が増えたことにより情報共有がなかなか行き届かず、課題もあった。2017年度は体制を今一度見直し、常勤職員しか担えなかった勤務を非常勤職員でも担えるようにしていくなど、時間外の削減を目指していく。

③ 事業内容

毎年繰り返し行っている行事も、必ず目的の確認を行い、厚みが出来てきたと感じる。特に今年度は福祉教育に力を入れた年であった。具其他的な内容として、住吉小学校の交流会に老人会の参加があったり、建国中学校の人権学習を1年通して関わって、計画から総括まで、例年以上に学校側と協働で開催できた、と感じる。
 2015年度～開催しているバザーに関しても、住吉中学の吹奏楽に来てもらったり、次年度以降も運営の仕方次第で更なる可能性が見えた。
 2017年度は開設10年という節目の年でもあるため、改めて日頃から支えてくださっている方々へ感謝を伝えていきたい。

④ 品質管理

職員数が増えたことで情報共有に課題があったが、それ以上に課題が見えたのは「基礎介護」の部分であった。特に非常勤職員が多いきずなにおいては、常勤のように採用時の研修などもなく、すぐに現場の引継ぎが始まることも多いため、基本的な介護技術が習得できていないまま現場実践にはいざざるを得ないことがある。それによって、利用者、職員双方に不安にさせてしまうため、次年度は部門内研修や引継ぎを強化していきたい。

【2017年度の計画】

① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	67,800	⇒	2016年度のように急な登録解除は仕方がないため、新規利用者を増やし予算達成に努める。 また、介護度による収入の開きも大きいため、実態にあった介護度が認定されるよう、区分変更など、その都度対応していく。 2017年度は制度改正による大幅な単価の減はないが、処遇改善加算がアップする一方で、体制強化加算の単価が下がるため、ほぼ変わらないことが予測される。
支出	58,488	⇒	職員配置にも記載しているが、非常勤職員の就業時間や業務内容を改めて見直し、常勤職員の時間外勤務を減らしていきたい。また、急な変更などが多い事業形態において、特定の職員に時間外が集中する傾向もあるので、可能な限り分散させていきたい。 収益の安定も同時並行で取り組まなければならないが、一番経費としてかかっている人件費を70%までにおさえることを目指していく。

② 主課題

- ① 新規利用者を増やし年間通して平均20名～23名の登録を目指す。
- ② 基礎介護を見直す

③ 年間事業計画(予定)

4月	花見「桜」	10月	バザー
5月	きずな10周年、つつじ鑑賞	11月	秋の遠足
7月	保育所交流会	12月	クリスマス忘年会
8月	サマーカーニバル	1月	お正月
9月	敬老会	3月	ふらっとたのしむすみよし、梅見